



SANKEN
HIROSHIMA JAPAN

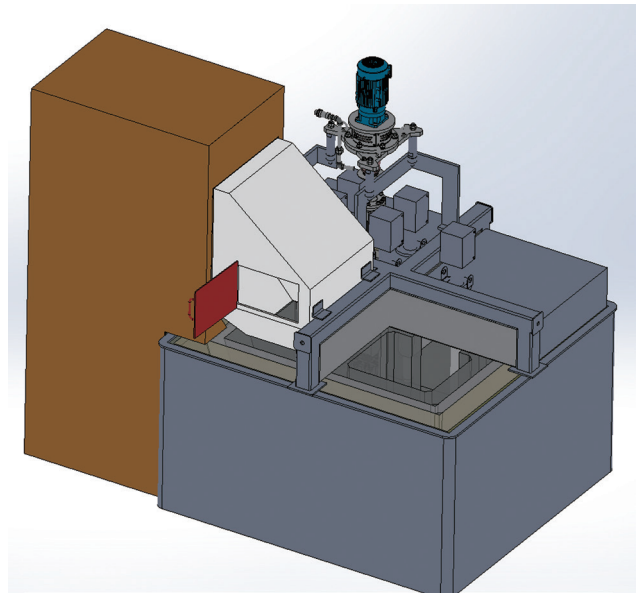
次世代型電気式浸漬溶解保持炉

S-MICII

Sanken
Melting system by
Immersion and
Circulation

主仕様例

ヒータ容量	130kW
溶解能力	250kg/hr
保持容量	1,550kg
出湯温度	680~720±3℃



特徴

A 炉体のコンパクト化で熱効率80%を達成

- 高出力ヒータの採用
- 溶湯循環による高いヒータ熱伝達効

D 環境負荷の軽減

- CO₂排出ゼロ
- 炉体の断熱強化

B 酸化ロスの低減

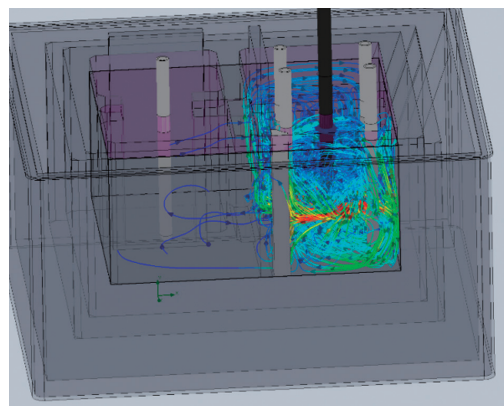
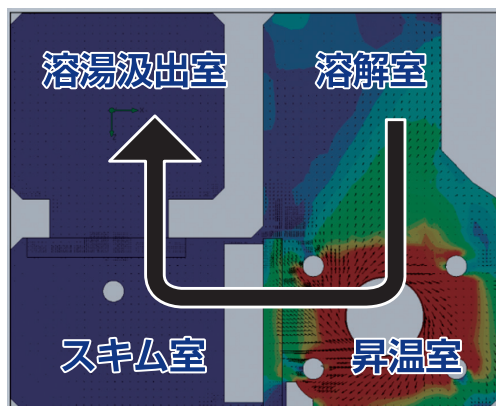
- ヒータ採用による雰囲気温度の低温下
- 材料の少量溶解

E すぐれた溶湯品質

- スキム室を設け、清掃性と鎮静時間を確保
- ヒータ採用によるガス吸収量の低減

C 高い温度精度

- 材料溶解室で最適な溶解速度をコントロール
- 高出力ヒータによる余裕を持った汲出室の温度制御



オール電化アルミ溶解保持炉

Super S-MIC

スーパー エス・ミック

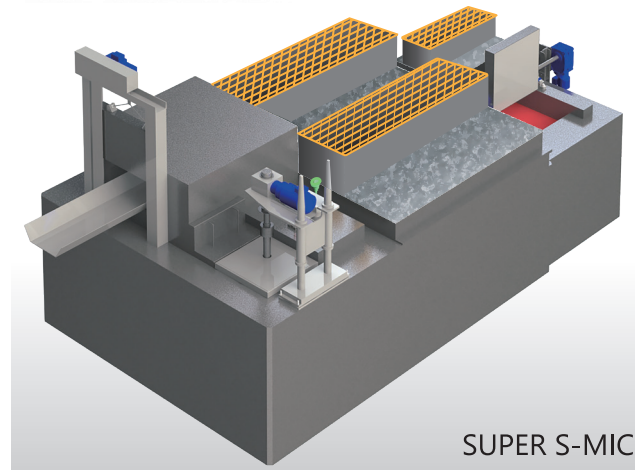
Sanken
Melting system by
Immersion and
Circulation

Super S-MICの目指すもの

- 超省エネ
- 高効率
- CO₂排出ゼロ
- 高潔浄溶湯
- Just in Time 溶解

主仕様

溶解能力	1,000kg/h
溶湯保持量	4,800kg
加熱方式	電気抵抗式ヒータ(SAヒータ)
出湯温度	680~720±3℃

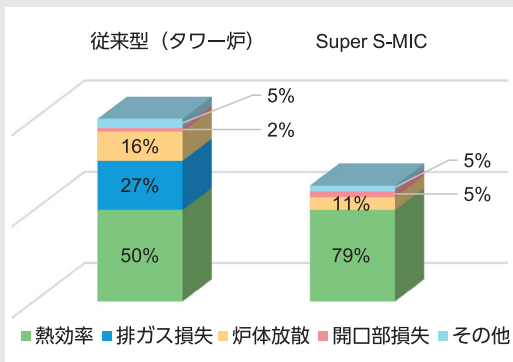


SUPER S-MIC

特徴

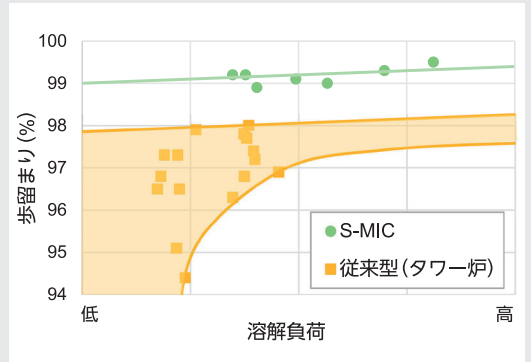
A 超省エネルギーの実現

- 高効率ヒータ+溶湯循環システムの最適化で従来型の約30%の省エネを実現します。



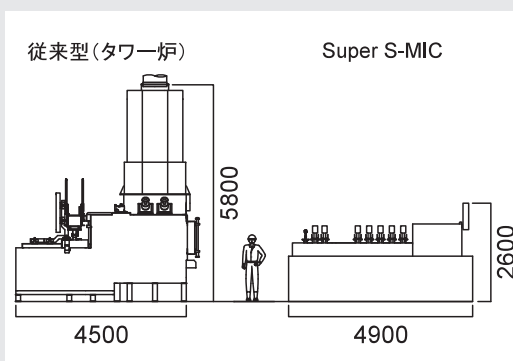
B 高歩留まり

- 溶解負荷に左右されない安定した高い歩留まりを実現します。



C ダクト・集じん装置不要

- ダクト・集じん装置不要でクール・クリーン+省スペースを実現します。



D オール電化で省エネ・CO₂ゼロ

- オール電化の溶解ラインで省エネ+工場からのCO₂排出ゼロを実現します。

